

学習課題（小学校6年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

◆「春のいぶき」（教科書38～39ページ）を、前回の続きから取り組みます。

- (1) 38・39ページにある三つの短歌・俳句を読んで、自分のお気に入りを一つ選びます。選んだ短歌または俳句をノートや取組シートに書き写して、気に入った理由をその横に書きましょう。
- (2) 前回の②で集めた、『「春」から思い浮かんだ言葉』から使いたいものを選んで、短歌（五・七・五・七・七）や俳句（五・七・五）のリズムで「春の短歌・俳句（どちらか一つ）」を作ります。
- (3) 作った「春の短歌（俳句）」を自分で読んだり、お家の人に読んでもらったりしてみましょう。

◆「笑うから楽しい」（46～47ページ）に取り組みます。

- (1) 46～47ページを声に出して読みます。
- (2) ①段落と④段落には、筆者の考えが書かれています。
①と④を比べて読み、『筆者が特に伝えたい考え（主張）』を探して教科書に線を引きます。
※同じようなことを述べている文章や、「～のです。」という文末を探してみましょう。
- (3) 中の②段落と③段落には、筆者の考えのもとになった事例が書かれています。二つの事例の出し方が変わった場合、自分は読み手としてどのように感じますか。次の（A）（B）（C）どれかの場合を考えて、ノートや取組シートに書きましょう。

（A）事例がなかった場合

（B）事例がどちらか一つだった場合

（C）事例の順序が逆だった場合

【Bを選んだ例】

②の実験の事例だけだったら、人によっては体と心の動きが関係していることに納得できないと思います。

◆「時計の時間と心の時間」で学習する予定の新出漢字（「刻」～「激」）を練習します。（読み方や書き順などは、299ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・お子さんが学習した内容を後から確認する場合、ノートや取組シートから〈春のいぶき〉で作った短歌や俳句を読み、「春のイメージが〇〇の言葉から伝わるね。」など、感想を伝えてください。短歌と俳句を作るのは、どちらか一方で構いません。